

「地区連絡協議会開催」

京都府 笠置町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	10人
○ 農地利用最適化推進委員：	0人
○ 事務局職員：	2人
○ 市町村行政との連携状況：	事務局、現地推進役等で調整会議を開いている

(写 真)

2 地区の特徴、状況、課題

- 笠置町の中央を東西に木津川が流れ、川の両側には急峻な山が迫っている。
- 木津川の南側をJR関西線が走り、笠置山は後醍醐天皇が挙兵、籠城した場所として知られている。
- 農地は、木津川の北側に走る国道163号と山裾の間に、带状に水田が広がり、畑地は山間部に点在している。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 今回は、農地利用の最適化を推進するため地区連絡協議会の活動目標を個人ごとに決めることとし、事務局が準備のたたき台を説明後に意見交換を行った。
 - 獣害、担い手不足など多様な意見が出され、委員ごとに活動内容が異なるように思われるため、「後継者へどうやってつなぐか」、「高齢農家を訪問し営農意向の確認」を全体としての活動目標に設定することとなった。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

地域の委員さんごとによくその農地についての現状を把握して下さっておられるため、より生の声を聞くことができたのは良かった。高齢化等課題が山積みではあるが笠置町に合った方法で少しでも農地を有効活用できるよう意見を出し合えればと思う。